

(様式 1 記載例)

エネルギー管理功績者応募用紙

(注) 記載内容は前年度までの実績を記入 (令和 6 年度の応募は、令和 5 年度までの実績を記入)

現住所	(〒980-8403) 仙台市青葉区本町三丁目 3 番 1 号 TEL 022 (263) 1111		
ふりがな	とうほく たろう		
氏名	東北 太郎		
生年月日・性別	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇才) 男 ・ 女 <u>年齢は記入年9月30日現在</u>		
勤務先	名称 及び 役職名	東北ME T I 株式会社 〇〇部 〇〇部長	
	所在地	(〒980-0014) 仙台市青葉区本町三丁目 2 番 2 3 号 TEL 022 (263) 1234	
	企業概要	資本金 〇〇,〇〇〇 百万円	事業所従業員数 〇〇〇 名
履歴	昭和〇〇年 〇〇工場 〇〇部 〇〇課 〇〇主任 <u>入社年は省略可</u> 昭和〇〇年 同 〇〇係長 平成〇〇年 同 〇〇課長 平成〇〇年～現在 同 〇〇部長		
エネルギーの使用 合理化関与年数等	社内	・ 昭和〇〇年〇月～昭和〇〇年〇〇月 〇〇課〇〇主任として電気設備の保守管理に従事、電気使用の合理化に取り組む。 ・ 昭和〇〇年〇月～平成〇年〇〇月 〇〇係長として電気設備全般の保安全管理、電気使用の合理化、省エネルギー対策に取り組む。 ・ 平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月 〇〇課長、エネルギー管理企画推進者としてエネルギー管理統括者を実務面から補助。 ・ 平成〇〇年〇〇月～現在 〇〇部長、エネルギー管理統括者として省エネルギー対策の中長期計画策定、実務の統制等に従事。 関与年数計 〇〇年 〇〇 月 <u>関与年数はエネルギー使用の合理化関係業務に係る責任のある職位に就任した日から起算</u>	
	社外	・ 昭和〇〇年〇月～平成〇年〇〇月 〇〇地区自家用電気協議会 (副会長) ・ 平成〇〇年〇月～現在 〇〇地区電気使用合理化委員会 (委員長) 関与年数計 〇〇年 〇〇 月 <u>エネルギー管理の関係団体・委員会等の職歴のある者 関与年数は社内・社外とも記入年9月30日現在とする。</u>	

* 関与年数等の欄には、エネルギーの使用の合理化業務の名称又は役職名等ごとに、関与した当初年月と関与年数を記入のこと。

各種免許等 (主としてエネルギー関連分のみ)	エネルギー管理士、ボイラー技士、ボイラー・タービン主任技術者、電気主任技術者等の免状取得年月を記入する。 昭和〇〇年〇〇月 第三種電気主任技術者 平成〇年 〇〇月 第二種電気主任技術者 平成〇〇年〇〇月 エネルギー管理士	
表彰歴	エネルギー関係の表彰歴を記入する。 (個人) 平成〇〇年 東北七県電力活用推進委員会委員長表彰 <u>表彰名称は省略しない。省エネ関連の社内表彰等も記入する。</u> (工場) 平成〇〇年 一般財団法人省エネルギーセンター東北支部長表彰 <u>工場の表彰は、当人が関与して受賞したものを記入する。</u>	
功績概要 具体的には別紙様式により記載すること	社内	1. 平成〇〇年～〇〇年 照明器具の高効率器具への更新による電力量の削減 2. 平成〇〇年～〇〇年 空調機の運転方法の改善による電力量の削減 3. 平成〇〇年～〇〇年 コンプレッサーのエアリーク対策による使用電力量の削減 4. 平成〇〇年～〇〇年 コンプレッサー自動運転台数制御による使用電力量の削減 5. 平成〇〇年～〇〇年 空調用冷却水循環ポンプのインバータ制御による使用電力量の削減 <u>改良・改善項目を箇条書きで記入する。</u>
	社外	1. 平成〇〇年 〇〇協会主催の電気使用合理化セミナーにおいて自社の合理化事例を発表 2. 平成〇〇年 電気業界紙〇〇に自社の電気使用合理化事例を執筆 3. 平成〇〇年～〇〇年 一般財団法人省エネルギーセンターのエネルギー使用合理化専門員として省エネ診断を実施 <u>他社工場等への教育・指導、社外講習会の講師、論文発表、雑誌への記事執筆活動等を記入する。</u>
その他特記事項		

(別紙)

功績の具体的な成果（主要なもの５項目以内、社内、社外別に書くこと）			
	項　目	時期又は期間	具　体　的　な　内　容
社 内			・ 功績概要の中から項目を選んで記入する。 ・ 原則として過去３年以内の実績を記入する。 ・ 具体的内容を簡潔に記入、効果を明記する。 ・ 改善箇所や工程・改善の規模などを明確に記入する。 ・ 特殊な機器、用語については注釈をつける。 ・ 改善効果の計算根拠を明記する。 改善費用 千円 改善効果 原油換算 k1/年 投資回収期間 年
	照明器具の高効率器具への更新による電力量の削減	平成〇〇年	照明器具更新時に高効率照明機器を導入した。 ・ 高効率器具への取替え 2,000灯 ・ 高効率ランプへの取替え 110灯 ・ 水銀灯から蛍光灯への取替え 600灯 削減量電力量 $\text{〇〇W} \times 2,000 + \text{〇〇W} \times 110 \times 10\text{h} \times 25\text{day} \times 12\text{ヶ月}$ $= 0,000/\text{kWh /年}$ $0,000/\text{kWh /年} \times \text{〇〇円/kWh} = 0,000\text{円/年}$ 改善費用 千円 改善効果 原油換算 k1/年 投資回収期間 年
	コンプレッサの自動運転台数制御による使用電力の削減	平成〇〇年	手動制御していたコンプレッサー（〇〇kW×４台）に、圧力変動により運転をコントロールする台数制御装置を導入、エアの使用量の１０％を削減した。 削減電力量（計算式を記入） 改善費用 千円 改善効果 原油換算 k1/年 投資回収期間 年
社 外	※以下の社外活動について記載 ○他社等へのエネルギー合理化指導・合理化教育	平成〇〇年	平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇協会主催の電気使用合理化セミナーにおいて自社のエネルギー合理化事例を発表した。 受講者数 約１５０名
	○社外講習会等における講演	平成〇〇年	電気業界紙「〇〇」に自社のエネルギー合理化改善事例「〇〇の改善による消費電力量の削減」について執筆した。
	○エネルギー使用合理化専門員としての活動	平成〇〇年～	平成〇〇年～〇〇年 一般財団法人省エネルギーセンターのエネルギー使用合理化専門員として省エネ診断を〇〇件実施。診断を受けた事業者から大変感謝された。